

3 B問題(活用)に対応するための練習問題

- 1 平均とその利用について、大切なことばをおさらいしましょう。
()にあてはまる数やことばを、下の【用語】の中から選んで書きましょう。

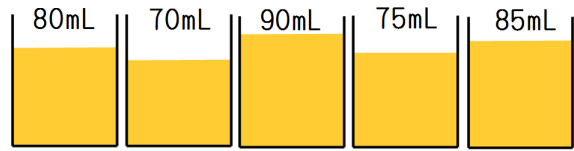
いくつかの数量を、同じ大きさになるように(**ならした**)ものを、それらの数量の平均といいます。
平均の求め方は、平均=(**合計**)÷(**個数**)にあてはめます。
平均は、人数や個数でも(**小数**)になることがあります。

【用語】

ならべた ならした 個数 合計 小数 単位数

- 2 次の計算をしましょう。わり算は、わり切れるまでしましょう。
(1) $38 \div 5 = 7.6$ (2) $9.2 \div 4 = 2.3$ (3) $2.65 \div 5 = 0.53$
(4) $(18+3) \div 3 = 7$ (5) $(42+37+35+46) \div 4 = 40$

- 3 大きさのちがうオレンジが5個あります。1個ずつしばってジュースをつくり、5人で飲みます。



- (1) しばったジュースの量の合計は何mLになるか答えましょう。
式 $80+70+90+75+85=400$ 答え 400 mL
(2) 5人の飲む量を同じにすると、1人分は何mLになるか答えましょう。
式 $400 \div 5 = 80$ 答え 80 mL

- 4 なほこさんは、たまごを使った料理をすることにしました。
(1) たまご6個の重さをそれぞれ調べると、次のようになりました。

56g 53g 60g 58g 61g 57g



たまご1個の重さの平均は、何gになるか、求める式と答えを書きましょう。
式 $(56+53+60+58+61+57) \div 6 = 57.5$ 答え 57.5 g

- (2) 右の表は、なほこさんの家で料理に使ったたまごの個数を表しています。1日平均何個のたまごを使ったことになるか、求める式と答えを書きましょう。

曜日	月	火	水	木	金
たまごの個数(個)	6	4	3	5	4

式 $(6+4+3+5+4) \div 5 = 4.4$ 答え 4.4 個

()年()組()番 名前()

- 5 じゅんさんたちは、紙ひこうきがどのくらい飛ぶか、そのきよりを調べることにしました。右の表1は、紙飛行機を5回飛ばし、飛んだきよりを調べたものです。
この表をもとに、きよりの平均が何cmか求めることにしました。

表1

回数	飛んだきより
1	3m43cm
2	3m67cm
3	3m78cm
4	30cm
5	3m52cm

- (1) じゅんさんは、きよりの平均を求める式を $(343+367+378+30+352) \div 5$ と書きました。
次の問いに答えましょう。

① $(343+367+378+30+352) \div 5$ を計算しましょう。
答え 294

- ② この式では、正しくはかかれていない4回目の記録がふくまれているため、この紙飛行機が飛んだきよりが正しく求められないと気付きました。
正しい式が書かれているものを、㊦～㊨から1つ選びましょう。

- ㊦ $(343+367+378+352) \div 5$
㊧ $(343+367+378+30+352) \div 4$
㊨ $(343+367+378+352) \div 4$

※4回目は、コースを外れて正しくはかれませんでした。

答え $\textcircled{\text{㊨}}$

- (2) じゅんさんたちは、紙飛行機を改良し、もう一度調べたところ表2のようになりました。次の問いに答えましょう。

表2

回数	飛んだきより
1	5m39cm
2	5m30cm
3	5m43cm
4	5m52cm
5	5m36cm

- ① 5mをこえた部分に着目した平均の求め方を次のように説明しました。□に入る数を書きましょう。

【説明】

5mをこえた部分の平均を求めます。
1回目の5m39cmは39、2回目の5m30cmは 30 と考えると
 $(39 + \square + \square + 52 + \square) \div 5 = 40$
 \square mに、求めた平均の40cmをたします。
紙飛行機が飛んだきよりの平均は、 \square m \square cmです。

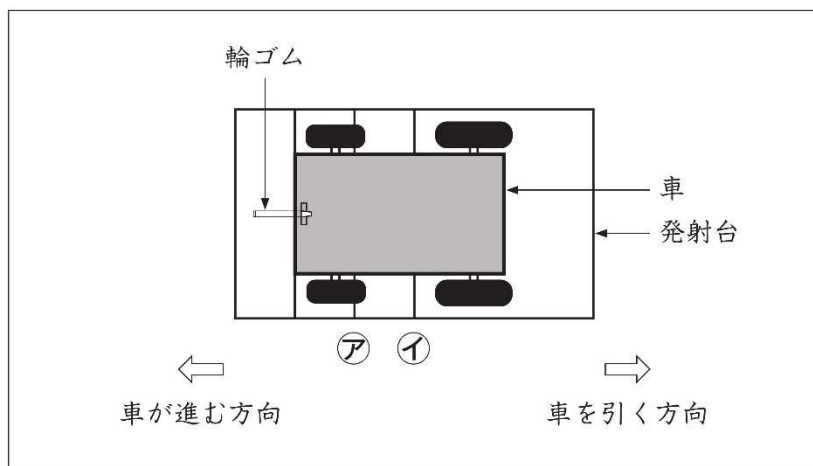
- ② じゅんさんは、一番短いきよりに着目して、平均を求めることにしました。
①の【説明】を参考にして、□に入る式や数を書きましょう。

一番少ないきよりである \square m \square cm をこえた部分に着目して平均を求めます。
1回目の5m39cmは9、2回目の5m30cmは 0 と考えていくと
 $(\square + \square + \square + \square + \square) \div \square = \square$
 \square m \square cm に、求めた平均の \square cm をたします。
紙飛行機が飛んだきよりの平均は、 \square m \square cm です。

3 B 問題 (No.1)

かずやさんたちは、ゴムで動く車を作りました。

下の図のように車と発射台を輪ゴムでつなぎ、車を引いて輪ゴムをのばしてから放すと、車が進みます。車の先頭が、図のⒶの位置に来るまで輪ゴムをのばした場合と、Ⓘの位置に来るまで輪ゴムをのばした場合に、どれだけ車が進むのかを調べます。



()年()組()番 名前()

まず、車の先頭がⒶの位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の、車が進んだきよりを5回調べ、表1のようにまとめました。表1をもとに、きよりの平均を考えます。

表1 Ⓐの位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の記録

回数	車が進んだきより
1	2 m 73 cm
2	80 cm
3	2 m 87 cm
4	2 m 69 cm
5	2 m 91 cm



かずや

2回目は、車が大きく曲がってしまい、記録を正しくはかることができませんでした。
そのため、2回目の記録を除いて平均を求めます。

(1) 2回目の記録を除いて、4回分の記録を使って車が進んだきよりの平均が何cmになるかを求めます。下の1から4までの中の、どの式で求めることができますか。1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 $(273 + 287 + 269 + 291) \div 4$
- 2 $(273 + 80 + 287 + 269 + 291) \div 4$
- 3 $(273 + 287 + 269 + 291) \div 5$
- 4 $(273 + 80 + 287 + 269 + 291) \div 5$



練習問題3の4
5
と関連があるよ!

答え 1

3 B 問題 (No.2)

次に、車の先頭が①の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の、車が進んだきよりを5回調べ、表2のようにまとめました。表2をもとに、きよりの平均を考えます。

表2 ①の位置に来るまで輪ゴムののばした場合の記録

回数	車が進んだきより
1	7 m 52 cm
2	7 m 31 cm
3	7 m 54 cm
4	7 m 20 cm
5	7 m 43 cm

かずやさんは、平均を求める計算を簡単かんたんにするために、7 m をこえた部分に着目し、次のように平均を求めました。

【かずやさんの平均の求め方】

7 m をこえた部分の平均を求めます。
 $(52 + 31 + 54 + 20 + 43) \div 5 = 40$
 7 m に、求めた平均の 40 cm をたします。
 車が進んだきよりの平均は、7 m 40 cm です。

()年()組()番 名前()

【かずやさんの平均の求め方】を聞いたはるなさんは、次のように考えました。



7 m のかわりに、7 m 20 cm をこえた部分に着目しても、平均を求めることができます。

(2) 7 m 20 cm をこえた部分に着目した平均の求め方を、言葉や式を使って書きましょう。

7 m 20 cm をこえた部分に着目した平均の求め方

(例)

7m20cm をこえた部分の平均を求めます。
 $(32 + 11 + 34 + 0 + 23) \div 5 = 20$
 もとにした 7 m 20 cm に、求めた平均の 20 cm をたします。
 車が進んだきよりは、7 m 40 cm です。



練習問題3の 3
4
5
と関連があるよ!

※ 平均正答率

	(1)	(2)
全国	68.1	26.3
私		

正解した場合には、私の欄に○印をしましょう。